

### 2020年東京五輪は大丈夫か？

大会記録の表示、チケット販売、開会式等イベント制御等、多様な重要システムを整備  
インターネットでの大会規模のライブ配信、ソーシャルメディアでの情報配信等、リアルタイムの情報発信 等

**競技場内**  
・電力制御システム  
・大会記録計測システム  
・監視カメラ 等

**競技場周辺**  
・交通系制御システム(鉄道、信号等)  
・チケット販売システム  
・WiFiスポット 等

**会場全体**  
インターネット中継・パブリックビューイング  
テレビ中継  
Webサイト・SNS  
サブ競技場

多様な分野

広域なネットワーク

ロンドン五輪開催中の2週間で…

- ・2億1200万の不正アクセス
- ・開会式時に照明システムに対するDoS攻撃の予告 等

大規模サイバー攻撃対処訓練を事前に5回以上実施  
ロンドン五輪開催時には約850名による体制でネットワークを監視

ロンドン五輪時よりも更に巧妙化するサイバー攻撃に備えるためには、サイバーセキュリティ人材の育成が急務

- ロンドン五輪開催中の2週間で
    - ・2億1200万回の不正アクセス
    - ・開会式時に照明システムに対するDoS攻撃の予告…等。
  - 東京五輪に備えて
    - ・人材育成、トップガン採用が重要。
    - ・疑似オリンピックシステム「サイバー・コロッセオ」を構築して、サイバー攻撃・防御手法の検証・訓練を行う。
  - 情報の割れ窓を放置しない。
    - ・穴の放置は経営責任。
- (サイバーセキュリティ経営ガイドライン)

### 2020東京オリンピック・パラリンピックを想定した大規模演習基盤による演習の実施 (“サイバー・コロッセオ”)

#### 概要図

NICTのクラウド環境と、その演習で得られた知見を活用

#### 具体的内容

- 公式ホームページやチケット販売、Wifi通信環境、放送システム等、多様なシステムの模擬システムの開発
- 上記の取組を通じて疑似オリンピックシステムを構築し、オリンピック開催時を想定したサイバー攻撃の攻撃・防御手法の検証及び訓練を行う。
- オリンピック組織委員会等と連携し、システムを構築。実際のオリンピックシステム担当者の訓練にも用いる。

(出典)総務省「サイバーセキュリティ人材の育成の強化について」(平成27年12月) <http://www.nisc.go.jp/conference/cs/jinzai/dai01/pdf/01shiryou0501.pdf>  
 (出典)経産省「サイバーセキュリティ経営ガイドライン」<http://www.meti.go.jp/press/2015/12/20151228002/20151228002-2.pdf>

## ②人材育成の強化継続・「トップガン」採用の重要性

### 「善意のハッカー」に報奨金

政府は情報セキュリティハッカー大会の優秀者を来年度、今の1.5倍に増やす予定だ。対象は主に新卒者や情

### ホワイトハッカー25人採用

政府、来年度 公募や大会優秀者ら

政府は情報セキュリティハッカー大会の優秀者を来年度、今の1.5倍に増やす予定だ。対象は主に新卒者や情

後採用する。公募したり

の任期付きの職員や研究員にする。専門人材を増やし高度で実務的な防衛体制づくりを急ぐ。

高度な技術を公共に役立てるハッカーは「ホワイトハッカー(正義のハッカー)」と呼ばれる。政府はホワイトハッカーを含め、NISCの人員

相が視察、NISCや警察庁の職員も会場を訪れ、海外ではホワイトハ

君、いい腕をしているな。今から私の仲間になれ!

サイバセキリティ月間

2016/2/11(MON)~2016/3/18(FRI)

ネットの未来を守るための、次の指令を実行せよ!

01 コード[SG] 悪意を振り払い、セキュリティ人材を募集せよ!

02 悪意を振り払い、セキュリティ人材を募集せよ!

03 信頼出来る仲間をつくれ! 悪意を寄せないで!

INSPIRE, IPA, NISC

(出典)独立行政法人情報処理推進機構「サイバーセキュリティ普及啓発ポスター」<https://www.ipa.go.jp/about/press/20160121.html>  
 (出典)日経新聞朝刊「ホワイトハッカー25人採用 政府、来年度 公募や大会優秀者ら」(2015年2月22日)  
 (出典)日経新聞朝刊「善意のハッカーに報奨金」(2016年1月18日)